

Sky

Application Delivery Management ソリューションが、アジャイル DevOps 環境での大規模でスピーディな CI/CD テストをサポートします。



概要

Sky は、欧州の大手 D2C (Direct-to-Consumer) メディア / エンターテインメント企業です。自社制作および放映権取得済みのテレビ番組、映画、ニュース、スポーツ、その他のコンテンツを 7 か国の 2300 万世帯に配信しています。同社は 31,000 名以上の従業員を擁し、2018 年度は 136 億ポンドの収益を上げています。

課題

Sky では、大規模なデジタル変革プログラムの一環として、2011 年にエンタープライズアジャイル開発を導入しました。これによ

「私たちが管理しているのは、絶えず要件が変化する大規模なパフォーマンステストのインフラストラクチャです。もし、すべてのシナリオを複製するために複雑なテストを作成して維持しなければならないとしたら、多大な時間が必要となったうえにエラーが多発していたでしょう。Micro Focus (現在は OpenText™ の傘下) は、私たちの要件に注意深く耳を傾け、プラットフォームの新機能に協力してくれました。成果にとっても満足しています」

COLIN GRIFFITHS 氏

パフォーマンスエンジニアリングマネージャー
Sky

て高度なサービス指向アーキテクチャ (SOA) が構築され、セールスとサービス要求をサポートするための新しいコンポーネントやサービスが急増しました。また、Sky に特定のソリューションを提供するサードパーティのクラウドベンダーへの移行も進められています。Sky が所有していないアプリケーションについても、エンドポイントシステムにアクセスできない場合でも、適用されるテスト要件は同じです。

Sky のパフォーマンスエンジニアリングマネージャーである Colin Griffiths 氏は次のように説明します。「当社のテストプロセスは、従来型のウォーターフォールベースの開発に合わせて、6 週間の開発サイクル中の 2 週間をテストに当てるというものでした。アジャイルに移行したため、このプロセスは使用できなくなりましたし、テストの速度と機敏性を向上する必要がありました。当社では、たとえば iPhone の新製品の発売などのような、製品の発売、キャンペーン、イベントに合わせて動くことが多いため、需要のピークに合わせてシステムを拡張できるようにしておかなければならないのです」

Sky のサービスの使用方法も絶えず変化しています。Sky のプラットフォームは、従来はコンタクトセンターのみでした。現在は .com や Sky のセットトップボックスプラットフォームなどの複数のチャンネルからもアクセスできます。最近では Sky のモバイルアプリケーションを使用する顧客が増えているため、数年前よりもプラットフォームの負荷の予測は困難になっています。



概要

業種

電気通信

所在地

英国

課題

アジャイル開発の導入に合わせて柔軟でダイナミックなパフォーマンステスト環境を構築する

製品とサービス

LoadRunner Enterprise
ALM/Quality Center
Service Virtualization

成功ポイント

- + エンドツーエンドのパフォーマンステストの 95% の自動化を達成
- + ビジネスパートナーシップによりイノベーションを推進
- + ピーク時のトラフィック要求に常に対応
- + プロセスの自動化により手作業とエンジニアリングの時間を削減

「LoadRunner Enterprise により、以前よりもはるかに速くテストを実行できるようになり、必要なものをテストしてエンジニアリング時間を短縮する変更ベースのアプローチを導入できました。朝には総合的なテストレポートを見ることができるため、テストの成否をすぐに判断できます」

COLIN GRIFFITHS 氏

パフォーマンスエンジニアリングマネージャー
Sky

お問い合わせ



Sky では、パフォーマンステストとレポート生成を自動化したいと考えていました。担当チームは、継続的統合 / 継続的デリバリー (CI/CD) テストソリューションを提供する必要性を明確に認識していました。Sky ではすでに OpenText™ LoadRunner Enterprise を使用していたため、Griffiths 氏とチームは、OpenText™ の製品管理および研究開発部門と緊密に連携して、急速に変化する大規模なエンタープライズアジャイル組織の要件を満たす強固なテストモデルを定義しました。

ソフトウェアテストの範囲を明確化したことにより、テストに関連する新しい課題が明らかになりました。これについて Griffiths 氏は次のように語ります。「多くのエンタープライズアプリケーションとプラットフォームは将来クラウドベースになり、従来型のソフトウェアビルドはコンテナ化された開発に置き換えられていくでしょう。私たちは、Micro Focus (現在は OpenText™ の傘下) と連携して、確立された DevOps 原則により、真にダイナミックで柔軟なソリューションを設計し、構築したいと考えています。これが実現すれば、テストボリュームの定義、テスト構成の構築、コンテナでの自動テストが可能になります」

ソリューション

設計に関する緊密なパートナーシップにより、複数の OpenText™ Application Delivery Management ソリューションを活用したエンドツーエンドのテストアーキテクチャが実現しました。テストと不具合の管理には ALM/Quality Center が使用されます。LoadRunner Enterprise は、パフォーマンステストの約 95% をカバーします。Service Virtualization では約 350 の仮想サービスが提供されます。これにより、サードパーティプロバイダーではよくあるように実際のサービスまたはデータを利用できない場合でも、パフォーマンステストを実行できます。

Sky は、LoadRunner Enterprise によりシステムのキャパシティをテストできるようになっただけでなく、特定のピーク期間に対応するために通常想定される容量をはるかに超えて拡張できるようになりました。自動化モデルでは、テストは夜間に行われるため、手作業が不要で、ピーク時にシステムリソースがテストに使用されることもありません。「LoadRunner Enterprise により、以前よりもはるかに速くテストを実行できるようになり、必要なものをテストしてエンジニアリング時間を短縮する、変更ベースのアプローチを導入できました」と Griffiths 氏は語ります。「朝には総合的なテストレポートを見ることができるため、テスト結果からすぐに知見を得ることができます」

LoadRunner Enterprise の継続的テスト機能により、コンポーネントやアプリケーションの数が増加しても、Sky はテストチームの規模を拡大することなくテストを実行できます。自動化されたエンドツーエンドのテストモデルにより大規模で複雑なテストシナリオが自動的に構築され、本番環境のトラフィックをシステムで正確にモデル化できるため、手作業とエンジニアリングの時間を削減できます。Sky チームでは、OpenText™ と緊密に連携して、テストのコンテナ化などの継続的な共同作業を通じて優れた新機能をテストプラットフォームに提供しています。

成果

OpenText™ と連携して真に柔軟でダイナミックなテスト環境を構築することにより、システムのキャパシティの制限を継続的にテストできるようになりました。これにより、Sky は、常に強固な高性能のサービスを提供してビジネス要件に対応しています。

Griffiths 氏は、Micro Focus とのパートナーシップを高く評価しています。「私たちが管

理しているのは、絶えず要件が変化する大規模なパフォーマンステストのインフラストラクチャです。もし、すべてのシナリオを複製するために複雑なテストを作成して維持しなければならないとしたら、多大な時間が必要となったうえにエラーが多発していたでしょう。Micro Focus (現在は OpenText™ の傘下) は、私たちの要件に注意深く耳を傾け、プラットフォームの新機能に協力してくれました。成果にとっても満足しています」

詳細はこちら：

www.opentext.com